

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人
薫風会

目 次

令和5年度 事業報告書

項目	拠点名	頁
1	本部	1
2	風の家	7
3	風の里	24
4	認定こども園ICHIGO	28
5	ANNESSO ICHIGO	44
6	認定こども園SAKURANBO	52
7	かぜの子保育園	66

1 法人本部

(1) 経過報告

年	月	日	内 容
5	4	3	福岡県議会議員選挙の不在者投票実施（風の家）
	5	31	監事監査
	6	16	定款変更（認定こども園SAKURANBOの土地取得により基本財産が増加したため。）
		27	役員に関する事項の重任登記 資産の総額の変更登記
	7	26	立入調査（かぜの子保育園）※北九州市保育課
		31	風の里グループホーム事業廃止
	8	31	一般指導監査の実施（認定こども園SAKURANBO）
	11	17	企業主導型保育施設に対する指導・監査（かぜの子保育園） ※（公財）児童育成協会
		28	立入調査（かぜの子保育園）※北九州市保育課
	12	30	一般指導監査（書面監査）（認定こども園ICHIGO及びANNEX ICHIGO）
		31	一般指導監査（書面監査）（ANNESSO ICHIGO）

(2) 理事会の開催

年	月	日	議 案
5	6	7	1 役員（理事）及び監事候補者について
			2 経理規程の一部改正について
			3 風の里グループホームの廃止について
			4 認定こども園ICHIGO、ANNEX ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、及びANNESSO ICHIGOの育児・介護休業等に関する規程の改正について
			5 積立金の積立について
			6 令和4年度事業報告について
			7 令和4年度決算について
			8 令和4年度監事監査報告について
			9 令和5年度補正予算について
			10 評議員会の招集について

年	月	日	議 案	
5	6	24	1	理事長の選定について
	8	9	1	業者選定委員会の設置について
			2	認定こども園SAKURANBOの土地の購入について
	11	29	1	風の家 運営規程の一部改正について
			2	かぜの子保育園 運営規程の一部改正について
			3	風の家 給与規程の一部改正について
			4	認定こども園ICHIGO、ANNEX ICHIGO、ANNESSO ICHIGO及び認定こども園SAKURANBO給与規程の一部改正について
			5	かぜの子保育園 給与規程の一部改正について
			6	評議員の欠員に伴う新評議員の選任について
6	3	22	1	役員等賠償責任保険契約について
			2	風の家施設長の人事異動について
			3	特別養護老人ホーム風の家及び風の家ショートステイ 運営規程の一部改正について
			4	風の家就業規則及び準職員就業規則の一部改正について
			5	風の家給与規程の一部改正について
			6	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO及びANNESSO ICHIGO運営規程の更新について
			7	かぜの子保育園 運営規程の一部改正について
			8	令和5年度積立金の取崩し及び積立てについて
			9	令和5年度補正予算について
			10	令和6年度事業計画について
			11	令和6年度積立金の取崩しについて
			12	令和6年度予算について
			13	評議員会の招集について
			14	風の家借入金の新規借入れについて

(3) 評議員会の開催

年	月	日	議 案	
5	6	25	1	役員の変更について
			2	風の里グループホームの廃止について
			3	積立金の積立について

年	月	日	議 案	
5	6	25	4	令和4年度事業報告について
			5	令和4年度決算について
			6	令和4年度監事監査報告について
			7	令和5年度補正予算について
			8	定款の変更について
6	3	30	1	令和5年度積立金の取崩し及び積立てについて
			2	令和5年度補正予算について
			3	令和6年度事業計画について
			4	風の家借入金の新規借り入れについて
			5	令和6年度積立金の取崩しについて
			6	令和6年度予算について

(4) 法人運営会議の開催

開催日			主な案件	
5	4	28	1	定例報告（本部、風の家、風の里、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2	理事会及び評議員会（6月開催）の議案等
	5	26	1	定例報告（本部、風の家、風の里、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2	理事会及び評議員会（6月開催）の議案等
			3	風の里廃止について
	6	23	1	定例報告（本部、風の家、風の里、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2	はぐくみ基金について
			3	風の里廃止について
	7	28	1	定例報告（本部、風の家、風の里、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	8	25	1	定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2	理事会（9月開催）の議案等
	10	27	1	定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）

開催日			主な案件
5	10	27	2 福利厚生代行サービス（ベネフィット・ステーション）について
			3 年末交流会の件
			4 理事会（11月開催）の議案等
	11	24	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	12	23	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
6	1	26	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	2	24	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会及び評議員会（3月開催）の議案等

【開催の概要】

1 定例報告

- （1）前月の施設の利用状況
- （2）事故報告
- （3）職員に関すること（職員の入退職、重要な異動・昇格等）
- （4）行事・研修予定及び報告
- （5）月次会計報告
- （6）その他

2 出席者

加来茂幸理事長、加来寛之次長、加来賢大次長（園長）
手嶋千代美施設長、加来香澄園長、藤田貴子施設長、山下和徳園長
中島慎一郎園長、石井久二子施設長、事務局安達雄二

3 開催場所

風の家会議室

4 その他

令和5年9月及び令和6年3月については未開催

(5) 令和5年度事業計画の達成度

ア 令和5年度基本方針に関して

(ア)「基本理念の周知徹底と具体化」について

各事業所の施設長及び園長は、職員が法人・施設の理念を基に援助行動ができるように、適時、適切な指導及び助言を行った。ほぼ目標を達成することができた。

(イ)「運営体制の強化」について

各事業所の施設長及び園長は、事業所内で起きている諸問題について適切に把握し対処した。社会保険労務士からの助言等を受け、介護職員及び保育職員の適切な福利厚生を充実させた。

また、法人及び各事業所の長期に亘る安定的な経営を持続可能にするため、北九州銀行との借入金の借換及び返済期間の延長を行った結果、資金収支は大きく改善された。

(ウ)「地域福祉への貢献」について

地域の自治会や校区まちづくり協議会、ボランティア団体などと良好な関係を築いているが、コロナ禍により地域交流は縮小せざるをえなかった。

地域の方々へ「介護食」の提供や、学童保育の実施などは、未実施となり今後課題を残すこととなった。

また、利用者及び介護職員の確保の困難さ等により、平成19年から運営を続けてきた風の里グループホームの廃止は、地域に対して大きな貢献をしてきたが、介護事業拠点を失ったことは残念な結果となった。

(エ)「法人組織の再構築」について

「介護事業及び子育て支援事業における制度上の相違点並びに職員処遇の不均衡による、両事業の一体的管理の困難さ」を解消するという課題に対しては、充分には達成できなかったが、各事業所それぞれで問題点をピックアップし、適切な運営を継続して行った。

(オ)「企業年金基金の加入に向けた調査及び研究」

保育事業所は、先行して、福利代行サービス「ベネフィット・ステーション」に加入し福利厚生の拡充を図った。

イ 令和5年度事業内容に関して

新型コロナも令和5年5月に5類移行となったが、各事業所は、施設長・園長および全職員が一体となって、引き続き万全な予防体制を継続させた。

しかしながら、介護施設においては、一部ユニットで利用者や職員に感染者が発生したが最小限度に抑え、重篤な状況は避けられた。

また、保育園についても、保育園児、保護者及び職員から感染者が発生したが、いずれも重篤な事例はなく、全国的な状況と同じものと思える。

理事会、評議員会及び監事監査並びに法人運営会議の実施については、適宜開催することができたが、年末交流会については未開催となった。

また、地域行事や地域交流会等への参加も徐々に増えてきているが（コロナ禍以前比）、積極的にかかわるとまではなっていない。

2 風の家

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
5	4	3	不在者投票	県議会議員選挙の不在者投票を実施
	5	15	防災訓練（地震・津波・高潮）	認定こども園SAKURANBO・かぜの子保育園と合同訓練
	7	13	ハリーコール訓練	急変者発生を想定しての訓練
		21	Sコール訓練	無断退去者発生を想定しての訓練
		24～26	職員健康診断	全職員対象健康診断を実施
	9	15	防災訓練	昼間想定の実施（4B火元想定）
	11	9	防災訓練	夜間想定の実施（3A火元想定）
	12	8, 15	救命救急（心肺蘇生・AED使用）の訓練	緊急時の対応及び心肺蘇生法とAED使用方法を学ぶ
		11	中国からの視察	中国から4名、その他3名視察で来所。見学及び意見交換等を行う。
6	1	10	防災訓練	夜間想定の実施（3A火元想定2回目）
		15, 26	救命救急（心肺蘇生・AED使用）の訓練	緊急時の対応及び心肺蘇生法とAED使用方法を学ぶ
		29～31	職員健康診断	夜勤勤務をする職員対象健康診断を実施

イ 見学者（1件）

年	月	日	見学者（団体名）	内容
5	12	11	江西楓林渉外経済貿易職業学院（4名）・九州医療スポーツ専門学校（1名）・一般社団法人グローバルエデュケーションサポート（2名）	中国から4名、その他3名視察で来所。介護施設の見学及び意見交換等を行う。

（集計）

（単位：件）

団体区分	特養	他施設	地域住民	学校	行政	その他	合計
件数	0	0	0	1	0	0	1

（単位：件）

見学目的	施設新設	ユニットケア	全般	その他	合計
件数	0	0	1	0	1

ウ 地域交流（８件）

年	月	日	概要	内容
5	9	10	御開自治区会敬老祝賀会	敬老会に職員が参加
	9	17	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	11	10	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	11	16	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
6	1	14	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	1	16	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	3	10	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	3	19	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席

エ 施設外研修（２３件、延べ８０人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
5	5	17	光洋 排泄リーダー育成セミナー	おむつの基本の当て方	WEB研修	光洋	7
	6	8	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学ぶ	WEB研修	認知症介護研修・研修仙台センター	1
		20～21	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学ぶ	WEB研修	認知症介護研修・研修仙台センター	1
		22	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学ぶ	WEB研修	認知症介護研修・研修仙台センター	1
	7	19	光洋 排泄リーダー育成セミナー	もれの原因を探ろう	WEB研修	光洋	7
	8	25	どうなる介護保険制度	介護保険改定についての情報収集	WEB研修	北九州市	3
		1～31	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学ぶ	WEB研修	認知症介護研修・研修仙台センター	1
		20	光洋 排泄リーダー育成セミナー	排泄用具の活用	WEB研修	光洋	5
	9	27	栄養士研修	新しい専門知識、技能の習得を中心に幅広い教養を身につけ、スキルの向上を図る	WEB研修	北九州市	1

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
5	11	14	クックチルについて学ぶ	職員食を作るために	WEB 研修	ナリコ マ	3
		15	光洋 排泄リーダー育成 セミナー	失禁アセスメント	WEB 研修	光洋	6
		22	身体拘束ゼロ施設見学会	他施設の実情やケアの在 り方を学ぶ	有吉病 院	福岡県	1
6	1	複数日	認知症介護実践者研修	認知症について理解す る。認知症介護の理念、 知識、技術を習得する。	WEB 研修	北九州 市	1
		15	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学 ぶ	WEB 研修	認知症介護研 修・研修仙台 センター	1
		17	光洋 排泄リーダー育成 セミナー	利用者の排泄ADLをあ げる。実現するためのア プローチ	WEB 研修	光洋	4
		26	施設調理員研修	給食施設における衛生管 理について	WEB 研修	ウエル 戸畑	1
	2	29	介護報酬改定の全体像	介護報酬改定セミナー	WEB 研修	南日本情報処 理センター	3
	3	13	光洋 排泄リーダー育成 セミナー	1年間の活動成果発表会	WEB 研修	光洋	2
		14	生産性向上ビギナーセミ ナー	介護現場における生産性 向上について	WEB 研修	厚生労働	15
		1～31	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学 ぶ	WEB 研修	認知症介護研 修・研修仙台 センター	1
	3	22	介護現場における生産性 向上説明会	地域における生産性向上 の取り組みが更に活発に 推進されることを目的	WEB 研修	介護ロボットの 開発・実 証・普及のプ ラットフォー ム事業	12
		26	小浜セミナー介護報酬改 定	過去最大規模の令和6年介 護報酬改定 新たな処遇改善加算	WEB 研修	北九州 市	2
		1～31	認知症基礎研修	認知症の基礎的な事を学 ぶ	WEB 研修	認知症介護研 修・研修仙台 センター	1

オ 施設内研修（21件、延べ683人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
5	4	複数日	感染症について	新型コロナウイルス等感染症予防 策	52
	5	複数日	倫理及び法令遵守について	倫理及び法令遵守について	75
	6	複数日	身体拘束・虐待について	虐待の基礎知識・身体拘束につい て	91

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
5	7	複数日	ターミナルケア	ターミナルケアに関する研修	31
		複数日	精神的ケアに関する研修（グリーフケア）	看取りから初期処置までグリーフケア	
	8	複数日	医療に関する研修	高齢者の特徴・バイタルサイン	60
	9	複数日	事故発生と再発防止について	介護場面でのリスク・危険予知トレーニング	66
	10	複数日	認知症について	認知症ケアの考え方	43
	11	複数日	感染症・褥瘡について	食中毒、接触・飛沫感染対策	44
	12	複数日	身体拘束適正化について	虐待の基礎知識・身体拘束について	38
6	1	複数日	非常災害時の対応	非常時に対する備え・防災の基礎知識	32
	2	複数日	緊急時の対応 リスクマネジメント研修	緊急時の対応と基礎知識・心停止・窒息	14
	3	複数日	吸引・喀痰研修	吸引と介護職員ができる体位ドレナージ	55
		複数日	救命救急（緊急時の対応）	心肺蘇生及びAEDの使い方を学ぶ	63
5	5	2	新人研修	・労働条件等説明 ・感染症、食中毒について ・喀痰吸引、胃ろうについて ・法人、施設運営理念 ・身体拘束、高齢者虐待について ・ノーリフティング	5
	6	1			2
	8	2			3
	10	2			1
	11	2			2
6	1	5			4
	3	7			2

カ 実習生の受け入れ状況（2件2人）

（単位：人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
社会福祉士	西南女学院大学	特別養護老人ホーム	1
〃	福岡県立大学	特別養護老人ホーム	1

介護等体験（2件2人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
教員免許	九州国際大学	特別養護老人ホーム	1
〃	梅光学院大学	特別養護老人ホーム	1

(2) 施設の利用状況

ア 特別養護老人ホーム（利用定員：140人）

（ア）在籍者数（年間目標在籍者数：138人）

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規入所者数	2	2	10	1	3	4	4	5	3	2	3	5	44	3.7
退所者数	1	4	1	3	7	4	4	0	2	3	4	7	40	3.3
平均在籍者数	133.4	130.7	133.7	136.9	134.4	133.2	132.6	134.4	137.6	137.9	135.8	135.3	1,616	134.7

（イ）新規入所者の状況

状況	人数	（単位：人）
自宅から	8	
SS長期利用後	7	
老健から	8	
病院から	9	
有料その他	12	
計	44	

（ウ）退所者の状況

状況	人数	（単位：人）
施設にて死亡	29	
病院にて死亡	2	
長期入院	6	
その他	3	
計	40	

（エ）平均在所者数（年間目標在所者数：135人）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	132.1	128.3	131.9	133.7	128.9	126.7	126.4	132.5	135.6	135.8	131.9	133.5	131.4

※在籍者より、外泊者を除いた数

（オ）1日平均外泊者数

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	1.3	2.4	1.9	3.2	5.5	6.5	6.1	1.9	2.0	2.1	3.9	1.8	3.2

（カ）外泊者数のうち入院者数

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院者実数	6	6	5	4	8	9	11	4	5	3	5	6	6.0
1日平均入院者数	1.3	2.4	1.9	3.2	5.5	6.5	6.1	1.9	2.0	2.1	3.9	1.8	3.2

（キ）平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢：86.8歳

平均介護度：3.52

イ ショートステイ（利用定員：１０人）

（ア）１日平均利用者数（年間目標平均利用者数：７．５人）（単位：人）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	平均
１日平均利用者数	7.5	8.0	7.4	7.3	6.5	6.3	6.8	6.0	7.5	6.4	8.3	8.1	7.2
１日平均入所数	1.6	1.7	1.6	1.6	1.5	1.4	1.5	1.5	1.1	1.1	1.3	1.1	1.4
１日平均退所数	1.6	1.8	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.4	1.0	1.2	1.1	1.1	1.4
１日平均宿泊数	5.9	6.1	5.7	5.6	4.9	4.8	5.2	4.6	6.5	5.1	7.2	7.0	5.7

（イ）月間利用者数（単位：人）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	平均
新規利用者数	2	2	4	3	2	7	4	4	4	2	1	6	3.4
月間利用者数	23	24	22	25	23	24	26	23	21	22	21	26	23.3

（ウ）平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢：８７．２歳

平均介護度：２．９

（エ）曜日別利用者数

（単位：人）

区分	月	火	水	木	金	土	日
利用者数	8.0	5.8	6.1	6.9	7.3	8.2	8.3
入所	1.2	1.9	0.9	2.3	1.4	2.2	0.6
退所	4.5	0.7	1.5	1.0	1.4	1.1	1.2
宿泊数	4.5	5.2	4.6	5.9	5.9	7.7	7.1

（オ）月間利用日数別人数

（単位：人）

日数	１日～５日	６日～１０日	１１日～１５日	１６日～２０日	２１日～２５日	２６日以上
人数	10.1	4.3	4.1	2.5	0.9	1.4

（カ）月間利用回数別人数

（単位：人）

回数	１回	２回	３回	４回	５回	６回	７回以上
人数	12.4	4.9	1.2	3.1	1.8	0.0	0.0

（キ）地区別人数

（単位：人）

地区	八幡西	若松	八幡東	中間	水巻町	遠賀町	戸畑	他
人数	16.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立 (件)

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
5	4	特別養護老人ホーム	入所者	(あるスタッフのトイレ介助方法について) 「トイレの介助方法が悪い。立位の際に、頭を前に出してと言われる。そうした方が良し事はわかっているが、それができないし、それをしたのために頭を打ってしまった。」	日頃からスタッフの介助のやり方の良し悪しを言って下さる方なので、話しを聞きながらユニットスタッフ全員で介助方法を見直した。	介助方法の見直しを行ったことで、納得いただいた。
5	4	特別養護老人ホーム	ご家族	異動したばかりで挨拶や自己紹介などもまだで、コミュニケーションもうまく図られておらず、関係性もできていないにもかかわらず、馴れ馴れしい言葉遣いで話してきた。	謝罪し、スタッフに指導を行っていくと伝える。	納得いただいた。
5	5	特別養護老人ホーム	ご家族	入所している母親が「スタッフからいじめられている。いじめられているから家に帰りたい。」と言っている。以前、皮下出血ができたきた際にはスタッフに叩かれたと話していた。この件を公にするとスタッフから本人に対しての当たりが強くなるのが心配なので、それとなく事実確認と状況把握をしてほしい。	当該入所者様に複数回聞き取り調査を実施。「いや、そんなことはない。」とか「毎日のようにいじめられている。」など返答はまちまち。いじめた人を尋ねるが、特徴が該当するスタッフもいなかった。食事の際、生活リハビリの観点から極力自力摂取するように促していたことを、いじめられていると感じた可能性もあった。カンファレンスを実施し、入所後コロナ禍で家族がほとんどフロアに上がっていなかった状況もあり、例外的にフロアでの面会を許可した。	生活の様子を見てもらい、また本人と家族が関わる機会を増やしたことで、認知症や精神面での影響で、事実でないことを話すことがあることについて、ご理解・納得いただけた。
5	5	特別養護老人ホーム	ご家族	皮下出血の報告を受けた際、言い訳が多かった。	報告内容や仕方を再度職員に指導する。	謝罪し、納得していただく。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
5	8	特別養護老人ホーム	入所者	男性スタッフから「オムツをしているからそこでしていいんよ、そのためのオムツだから。あなたも楽だし、自分たちも楽。」と言われた。夜中はオムツでもいいと思うけど、起きているときにはトイレに行きたい。	スタッフと共に入所者に謝罪行う。スタッフに対しては排泄介助について改めて指導を行い、入所者の羞恥心や自尊心にも配慮するように指導した。	その後、トイレ誘導も行っており、対応にご理解いただいた。
5	8	特別養護老人ホーム	ご家族	(終末期ケアを行っているご入所者様のご家族) 食事や離床介助について、スタッフによって何かをしてあげようとする気持ちがあるスタッフとないスタッフの差がある。	家族様としては食べる事で命が延びると思いきや無理やり食べさせようとすることもあり、スタッフは本人の負担も考え行おうとしない場合もある。 ご家族様の気持ちを汲み取り、食事以外での特別感をだしていけばいいのではないかと自宅外出等の提案を行った。	他の提案を行ったことを機に、本人の状態を顧みるきっかけとなり、食事介助に執着することが減った。 スタッフの介助についてもご理解いただけたようになった。
5	9	ショートステイ	ご家族	①マスクをして帰ってきたが、マスクが汚れていた。②着て行った下着と同じものを着て帰ってきた。③使用した衣類と未使用の衣類が一緒に入れていた。④ポリデントが余っていて使用しているのか。⑤内服薬は飲んでいたが、貼り薬は貼りかえられていなかった。	スタッフに対して衛生管理や薬の重要性などについて指導を行った。 ご家族様にも改めて謝罪行う。	改善内容についてご理解・納得いただいた。 その後も継続して利用をされている。
5	9	特別養護老人ホーム	ご家族	面会時に家族が入所者の方にイボがあることを発見し、スタッフに受診依頼をした。皮膚科に受診し、家族に報告をしたところ、「その皮膚科は評判が悪いし、そこじゃなくてよかった。事前連絡はどうなっているのか。」と受診する病院の相談をしていなかったことに関して苦情を言われた。	家族に謝罪を行い、最終的には家族が勤めている病院に受診先を変更し、治療をしてもらうことになった。	受診先を変更後は対応に納得いただいた。 今後は受診検討時にご家族に連絡を行い、受診先の病院の確認を行っていく。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
5	9	特別養護老人ホーム	入所者	施設の食事について、「米が硬くて食べられない。施設の食事もう味がせず、どうしても食べられない。頑張って食べてみても嘔吐してしまう。」と訴えがあった。	管理栄養士と生活相談員が訪室し、詳しい要望について聞き取り、本人が食べたい・食べやすいといったメニューを特別に提供することになった。また、生協やスタッフとの外出を利用し、好きな食材を購入できるようにした。元々嘔吐など、体調に波があり、看護師とも情報共有を図った。管理栄養士が定期的に本人に感想を聞くことになった。	話し合い後、胆管炎の診断で入院・手術となった。退院後は体調は改善。食事の対応は継続して行い、摂取量の改善が見られた。
5	9	特別養護老人ホーム	ご家族	①お父様について…「最近転倒が続いて、連絡をもらうことが多いが、先日スタッフから『大きな怪我がない時には、月1回の面会時にご報告差し上げるのはいかがでしょうか。』と提案された。今まで通りその都度連絡がほしい。 ②お母様について…面会時、「またお迎えに来ます」と言って、スタッフがその場からすぐに居なくなる。聞きたい事もあるし、聞いても「ちょっと分かりませんね。」と言われる事もある。また、スタッフが入浴介助の格好のままで連れてくる時がある。	①何回も連絡することがご家族様に負担になるのではと考えて発した事であったが、ご家族様の気持ちを確認しなかったことに関しては謝罪する。今後も今まで通りその都度報告するとお伝えする。②対応したスタッフに指導行う。	納得いただいた。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
5	10	特別養護老人ホーム	ご家族	19時12分に、ご家族様よりLINE@に面会の予約が入る。通常、LINE@の対応は事務所スタッフが行っていたが、この時間はすでに退勤していた。このLINE@は事務所スタッフ以外の何名かの管理者が共有でき、メッセージを確認できるようになっていた。そのうちの一人がこのメールを開き既読の状態になっていたが、返信をしていなかった。19時54分に再度ご家族様より、既読になっているのにすぐに返信が来ない事に対して立腹した内容のメールが届く。	夜勤者に連絡し、ご家族様に謝罪の連絡を入れる。また、面会の予約等のタイムリーな返事が必要なことに关しては、電話連絡にしてほしい事（入所時には説明済）を再度お願いする。また、この謝罪の電話時に、月に1回は入所者様の様子をLINE@で送ることになっていたが、送られていないと指摘されたため、後日すぐに送った。	納得いただいた。
5	10	特別養護老人ホーム	ご家族	以前は施設で物品を購入してくれていたのに4月からは買ってくれなくなったのか？そうであれば書類で通知してほしい。 最近本人が痩せて服のサイズがわからないので測ってほしいと依頼したが報告された内容がおかしい。担当スタッフと気が合わない。	本人の状態変化に伴い、必要物品が増え、施設でもやや割高にはなるが通販の準備があると説明する。購入依頼に関して理由や根拠が説明できておらず謝罪する。 担当スタッフにも確認するが家族の話との食い違いもあり、入所者自身体調が不安定な状態が続いているが、当該スタッフの改善は見込めないため、ユニット副主任が代行することになった。	副主任とのやり取りで納得いただけた。
5	11	特別養護老人ホーム	ご家族	家族と連絡が取れないと施設から強く言われ、対応されたが、施設が間違って電話番号を登録していたからだった。 対応した施設スタッフの態度について苦情を言われる。	後日、家族が再度来所された際に直接謝罪を行う。	ご理解いただけた。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
5	11	特別養護老人ホーム	ご家族	入所して間もないご入所者が夜間帯に急変し、亡くなった。退所後、荷物を引き取りに来られた際に施設から再度説明を行わなかったことに関して、家族に対しての配慮に欠けているとご指摘を受けた。	コロナ禍の対応として、退所時の荷物の引き取りはフロアに上がらずに玄関で行っていた。スタッフとご家族が関わる機会がなく、心情に配慮した対応ができていなかった。退所時はフロアに上がり、荷物整理をしていただけのようなルールを変更し、課長以上が施設の代表として挨拶を行うようにした。	ご理解いただきました。
5	12	ショートステイ	ご家族	ご利用される前日に、お迎え時間を伝えるために電話をするようになっている。その際、ご家族様が「帰る日は迎えに行きます。」と言われたが、それに対し、スタッフが「急に言われても困ります。」と言ってしまふ。翌日、迎えに行つたスタッフに対し、ご家族様が前日に対応したスタッフの苦情と、荷物の詰め方が悪いとの指摘を受ける。	電話対応を行ったスタッフが直接ご家族様に謝罪行う。荷物の詰め方については、今後気を付けるとお伝えする。	納得いただいた。
6	1	特別養護老人ホーム	ご家族	面会に息子様と妹様が来られる。妹様は車椅子に乗られていた。ご本人様も車椅子使用で、居室内で動き辛かった様子。その事にスタッフは気付かず、息子様より「こんな対応が悪いのは初めて。」と、LINE@にて苦情を受ける。	配慮が足りなかったことを謝罪する。	納得いただいた。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
6	1	特別養護老人ホーム	ご家族	12月初めに、床走行リフトでの移乗介助中に脹脛に怪我をする。その際の状況を詳しく知りたいので記録が欲しいと、12月24日の面会の際にスタッフに伝えていた。その事を上司に伝える事を忘れており、12月31日に再度ご家族様より依頼を受けるが、不信感を抱かれていた。	謝罪と共に、情報開示が遅れたことの理由を説明を行う。	納得いただいた。
6	3	特別養護老人ホーム	ご家族	入浴介助を見学したご家族より、スタッフの介助方法が荒い、言葉遣いも丁寧ではないと指摘を受ける。	副主任とユニットスタッフの連携が取れておらず、見学後にスタッフがご家族と話をする時間を設けられず、ケアの根拠等きちんと説明できなかった。スタッフに対しては丁寧な言葉遣いを心がけるよう指導。その後はご家族様見学後に密にコミュニケーションを図って現状の報告等行うようにした。	納得いただいた。

イ 第三者委員への苦情申立 なし

ウ 行政への苦情申立 なし

エ 意見箱にいただいた意見（2件）

年	月	内容	回答
5	4	かべにはってある月日よう日を毎日書いてください。みんな年よりで、関係ないどうせバカに近いのにと 思っは困るよ。（原文通り 令和5年3月に投函）	日めくりカレンダーは利用者同士のトラブルに繋がったことがあり、手依拠していた。当該部署の副主任が入所者様と話し、リビングにカレンダーを設置していることを説明。納得していただけた。
	5	せりがいっぱい入っているものをおねがいします。（原文通り）	当該部署副主任が入所者と話し、施設で準備することは難しいため、家族に依頼をすることになった。

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	454
うち損害あり	278
うち行政報告あり	20

イ 事故の内容 (単位：件)

内容	事故	インシデント	合計
転倒	128	12	140
転落	63	3	66
異食	1	1	2
不明	1		1
誤薬・与薬もれ等	31	18	49
誤嚥・窒息	6	2	8
医療処置関連 (チューブ抜去)	6		6
感染症(インフル エンザ等)	1	1	2
食中毒	0		0
交通事故	0		0
徘徊	2	2	4
接触	128	2	130
職員の違法行 為・不祥事	0		0
事業所の災害被災	0		0
その他	43	3	46
合計	410	44	454

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
異常なし	176
打撲・捻挫・脱臼	73
切傷・擦過傷	99
骨折	5
その他	101
合計	454

エ 行政報告事故(20件)の詳細

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
5	4	13	転倒	切傷(頭部)	脳外科受診し頭部縫合。CT異常なし。
	5	2	転倒	骨折(左あばら)	整形外科受診し、湿布処方。
	6	5	転倒	骨折(腰椎)	整形外科受診し、コルセット装着で保存治療。

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
5	6	10	転倒	転倒（臀部他）	整形外科受診し、レントゲン検査異常なし。湿布処方。
	7	4	転倒	骨折（肋骨3～8）	整形外科受診し、コルセット装着・湿布・鎮痛剤処方で保存治療。
		13	誤嚥	誤嚥性肺炎	救急搬送し入院となる。
		15	誤嚥	死亡（窒息）	救急搬送するが死亡。
		22	転倒	骨折（腰椎）	整形外科受診し、コルセット装着で保存治療。
	8	19	転倒	骨折（左大腿部大転子部）	整形外科受診し入院、手術となる。
		21	転倒	骨折（右大腿部転子部）	整形外科受診し入院、手術となる。
	10	8	誤薬	嘔吐	病院受診し血液検査するが、嘔吐したことで排泄できたようで異常なし。
		19	転倒	骨折（右大腿骨大転子部）	救急搬送し入院、手術となる。
	12	11	接触	切傷（右脛脛部）	整形外科受診し、10針縫合する。
		11	感染(インフルエンザ)	その他	スタッフ・入所者合わせて13名の罹患者発生
		15	接触	爪剥離（右足第2指）	皮膚科受診し処置及び軟膏処方。
6	1	7	転倒	裂傷（右耳） 切傷（右後頭部）	救急搬送し処置後施設へ帰所する。
		21	転倒	打撲（右肩）	整形外科受診し、湿布と鎮痛剤処方。
		11	感染(新型コロナウイルス)	その他	スタッフ・入所者合わせて35名の罹患者発生
	3	2	転倒	骨折（右足頸部）	整形外科受診し入院、手術となる。
		7	転倒	骨折（左足頸部）	整形外科受診し入院、手術となる。

(5) 令和5年度事業計画の達成度

ア 令和5年度基本方針に関して

(ア)「介護の質の向上」について

前年度以前からの継続テーマである、「基本理念の理解、共有」、「利用者の“気持ち”に重点を置いたケア」、「職員の達成感獲得への支援」、「情報共有の充実」については、令和5年度においても施設運営の中で最も重要な課題と位置づけ、勉強会や現場指導を通じて取り組みを続けた。

ノーリフティングケアについては、令和5年度も、「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」のメンター施設としての活動を継続した。

また、令和4年度から行っている「北九州モデル」（ICT化・介護ロボット等を活用した介護現場の業務改善手法）に基づいた業務改善の一環として、見守りセンサー設置を行い、介護助手導入への準備を進めた。業務改善については、まだ道半ばのため、令和6年度以降も継続して取り組んでいく。

(イ)「家族対応の充実」について

新型コロナウイルス感染症対策の面会制限を、令和5年度も少しずつ緩和しながらも継続せざるを得なかった。定期的な電話やSNS

（ソーシャルネットワーキングサービス）を用いての連絡などの状況報告にも力を入れたが、職員と家族の関係は深まらず、また、長い間面会者がいない状況で職員の家族対応の拙さも見られたことで、苦情の件数が増加した。苦情でいただいたご意見を糧に、職員指導を強化したい。

(ウ)「食事サービスの充実」について

利用者の状態（病態・摂食機能など）や嗜好などに基づき、食べることを少しでも長く楽しんでいただけるよう工夫を続けた。

(エ)「感染症対策の充実」について

手洗い・手指消毒・換気に重点を置いて、感染予防を継続した。今後も、新型コロナウイルス感染症だけでなく、他の感染症も視野に入れ、平常時の感染対策を継続していきたい。

気に過ごされている。

(オ)「管理体制の充実」について

感染症発生時及び災害発生時における業務継続計画を完成させた。

また、本館外壁の修復工事など、令和6年度に行う大規模修繕等の計画を立てた。

(カ)「経営の効率化」について

現在も発生しており、今後も進行するであろう介護人材不足に対応するため、テクノロジーの活用や、介護助手の導入などについての検討を重ねた。テクノロジーの活用については、令和5年度中に見守りセンサーを設置し、介護職員の業務負担の軽減及び利用者・家族の安心感提供の増強を図った。

(キ) 施設からの情報発信

HP（ホームページ）やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を通じて、施設の考え方、日常の風景などの発信を継続した。

イ 令和5年度事業内容に関して

(ア) 特別養護老人ホーム

a 年間利用者数について

1日平均在籍者数目標を138名、1日平均在所者数（外泊等を除く数）目標を135名に設定していたが、実際には、1日平均在籍者134.7名、1日平均在所者131.3名と昨年同様低迷した。

利用者の医療的重度化が進み、ターミナル期を迎えられ亡くなられる方が例年に比べ多かったこと、令和5年8月～10月に入院される方が相次いだことが原因と思われる。

新規入所者数については、7月末の風の里グループホーム廃止に伴い6月中に8名の利用者が入所されてきたこと、空床ができた後の新規利用者の受け入れもスムーズになってきたことなどで、退所者を上回る数の入所者の受け入れができた。

b 事業内容について

令和5年度も、新型コロナウイルス感染症との闘いは続いた。令和5年8月、令和6年1～2月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、それ以外でも職員等の感染は見られていたため、職員不足が常態化し、職員は精神的にも身体的にも疲弊する日々が続いた。しかし、徐々に日常的な規制は緩和し、コロナ以前の日常に戻そうと、利用者の日々の楽しみに目を向けるなど工夫を重ねた。

(イ) ショートステイ

a 年間利用者数について

平均利用者数7名、稼働率70%を目標値に対し、年間平均利用者数7.2名、稼働率72%と目標を達成した。新規利用者が増加したこと、利用者1人当たりの利用日数が増えたことが理由であると考えられる。

b 事業内容について

新型コロナウイルス感染症の影響も徐々に薄れ、コロナ以前のように、利用者の日常的な楽しみを増やすことに力をいれることができた。サービス担当者会議も自宅で開催されることが多くなり、ご家族や居宅支援事業所のケアマネとの情報交換や共有も進んだ。

3 風の里

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
5	7	31	運営	風の里グループホーム廃止

イ 運営推進会議

開催日			参加者		特別な議題等
年	月	日	家族	他	
5	6	24	0	3	事業所廃止についての説明

ウ 地域交流 (0件)

年	月	日	概要	内容		
—	—		—	—	—	—

エ 施設外研修 (0件)

(単位：人)

年	月	日	研修名	開催場所	主催者	人数
—	—		—	—	—	—

オ 施設内研修 (1件、延べ10人)

(単位：人)

年	月	日	研修名	内容	参加人数
5	4	25	救命救急・緊急時対応の シュミレーション	心肺蘇生術訓練	10

(2) 施設の利用状況

ア グループホーム (利用定員：9人)

(ア) 在籍者数 (年間目標在籍数：9人)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月		合計	平均
新規入所者数	0	0	0	0		0	0.0
退所者数	0	0	8	0		8	2.0
月平均在籍者数	8.0	8.0	5.5	0.0		21.5	5.4

(イ) 新規入所者の状況 (単位：人)

(ウ) 退所者の状況 (単位：人)

状況	人数
家庭から	0
老健から	0
病院から	0
その他	1
計	1

状況	人数
施設にて死亡	8
長期入院	0
特養入所	0
家庭へ	0
計	8

(エ) 平均在所者数 (年間目標在所者数：8.7人)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月		平均
平均在所者数	8.0	8.0	5.5	0.0		5.4

※在所者数は在籍者から外泊者を除いた数

(オ) 1日平均外泊者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月		平均
1日平均外泊者	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

(カ) 外泊者のうち入院者数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月		平均
入院者実数	0	0	0	0		0.0
1日平均入院者数	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0

(キ) 平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢　：　８７．５歳

平均介護度　：　３．５

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいたご意見

なし

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	1
うち損害あり	0
うち行政報告あり	0

イ 事故の内容 (単位：件)

内容	事故	インシデント	合計
転倒	1	0	1
転落	0	0	0
接触	0	0	0
異食	0	0	0
誤薬	0	0	0
誤飲・誤嚥	0	0	0
無断退去	0	0	0
交通事故	0	0	0
その他	0	0	0
計	1	0	1

ウ 損害の内容 (単位：件)

内容	件数
死亡	0
骨折	0
外傷	0
打撲・捻挫・脱臼	0
内出血	0
火傷	0
物の破損	0
その他	0
計	0

エ 行政報告事故（0件）の詳細

年	月	日	事故の種別	損害の状況	対応および結果
なし					

5) 令和5年度事業計画達成度

ア 令和5年度基本方針について

(ア) 「基本理念を常に念頭においた介護の継続」について

短い期間ではあったが、職員一人ひとりが自身の行動規範として、基本理念を意識しながら介護する事が継続できた。

新型コロナウイルス感染症については、感染症対策を守りながら利用者、職員共に感染者を出さずに経過した。

(イ) 「経営状況の改善を図る」について

令和5年度に入り、空床を埋めることができず、以後も厳しい状況が予想されたため、令和5年6月7日の理事会で「風の里グループホームの廃止」が決議され、令和5年7月31日付で事業を廃止した。

イ 令和5年度事業内容について

グループホーム（定員9名）

(ア) 年間利用者数について

令和5年度当初在所者数8名であったが、その後も空床を埋めることができず、事業廃止となった。

在所されていた8名については、全員令和5年6月中に特別養護老人ホーム風の家に入所された。

(イ) 事業内容について

短い期間ではあったが、個別的な処遇に力を入れ、利用者一人ひとりの望む生活を送っていただくよう努めた。

事業廃止に当たり、利用者・家族に十分説明し、色々な選択肢を提示した上で、特別養護老人ホーム風の家への移動を了承していただいた。

4 認定こども園ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員の対する辞令交付式（コロナの為、事務局長来園）
5	12	20	ICHIGO・ANNEX ICHIGO指導監査	北九州市子ども家庭局による書面指導監査

イ 行事

年	月	日	行事	内容
	4	1	入園進級式	園児のみで開催
	4	21	春の遠足	5歳児・4歳児 グリーンパーク（バス遠足） 3歳児・2歳児（I/A）北筑2丁目公園 1歳児（I/A）・0歳児（I/A）今池電停
	5	10	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 3歳児・2歳児の健康診断を行う
	5	12	クッキング	3歳児 ホットケーキを作りを楽しむ
	5	16	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 ANNEX・0歳児・1歳児の健康診断を行う
5	5	17	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 5歳児・4歳児の健康診断を行う
	5	19	ICHIGOキッズ Festival	くじ引き・スタンプラリー・わなげ・タッチでポン をし、お祭り気分を味わう
	6	27	保育参観	5歳児 宝探し・クイズ・世界のダンス 4歳児 制作（時計） 3歳児 新聞紙遊び・フルーツバスケット 2歳児 リトミック・制作（ユニコーン） 1歳児 制作（魚釣り） 0歳児 ふれあい遊び・わらべ歌遊び A2歳児 色探し遊び A1歳児 シール貼・親子ゲーム A0歳児 布遊び・戸外遊び

年	月	日	行事	内容
5	6	6	歯科検診	4歳児・5歳児対象 加来歯科医による検診を行う
		9	お泊り保育 (5歳児)	海の中道海浜公園へバスで遠足に行く シャワー、夕食を済ませ、お楽しみ会に参加する。 園庭で打ち上げ花火を見て就寝
		10		
	7	7	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をする
		13	人形劇	「からこま座」の方が来て全園児が人形劇を観る
	8	17	水かけまつり	ANNEX…ANNEX園庭 ICHIGO 0歳児・1歳児…テラス ICHIGO 2・3・4・5歳児…屋上 時間を分け、熱中症に注意しながら行う
	9	16	敬老の日	年長児が敬老の日のプレゼント理事長へを渡す
		30	運動会	ICHIGO・ANNEX合同で的場池体育館で運動会を行った
	10	5	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳～2歳児（ANNEX含む）までの健康診断を行う
		18	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 3歳～5歳児までの健康診断を行う
		20	秋の遠足	5歳児・4歳児 瀬板の森公園 3歳児・2歳児(A) 永犬丸中央公園 1歳児(A)・0歳児(A) 北筑二丁目公園 上記を予定していたが、雨天のため室内でお楽しみ会を行う。
		30	ハロウィン	仮装をし、各クラスを巡回して記念撮影を行う
		31	芋ほり	4歳児・5歳児が芋ほりを行う
	11	14	焼き芋パーティー	芋ほりした芋を、畑で焼き芋にする
		15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰る
	12	16	お遊戯会	クラス入れ替え制で0～2歳児・ANNEX合同で行う
		23	お遊戯会	クラス入れ替え制で3～5歳の演目を行う
		25	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った

年	月	日	行事	内容
6	1	12	ホークスキップ	マスコットキャラクターが来園し、野球の楽しさを知らせる
		15	キラヴァンツ サッカー指導	サッカーを通して体を動かす楽しさやルールを学ぶ (4・5歳児)
		16	クッキング	食育の一環として、4歳児・5歳児がピザパンを作り、食べた
		-	個人懇談	希望制にて懇談を行う
		2	節分(豆まき)	折尾神楽が来園し、各クラスで豆まきをした
	2	14	お茶会	年長児のみ参加(桜井先生・淳子先生)
		17	保育参観	全園児が作った商品を年長児が販売し、各クラス順番に買い物ごっこを楽しむ。 5歳児 制作(お仕度ボード) 4歳児 ビンゴゲーム 3歳児 制作(ロケット) 2歳児 制作(お買い物バック) 1歳児 リトミック 0歳児 小麦粉粘土あそび A2歳児 制作(買い物袋) A1歳児 制作(買い物袋) A0歳児 制作(買い物袋)
		1	ひなまつり	ひな人形について話をし、各クラス制作したひなまつり制作を発表する。
		9	卒園式	プレイルームで卒園式を行った
		15	お別れ遠足	到津の森公園に行き、動物に触れあいお弁当を食べた
	3	22	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		29	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

年	月	日	行事	内容
			金山川アート ギャラリー出 展	開催なし
			もちつき	開催なし
			卒園児とあそ ぼう	開催なし

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎月4回実施 硬筆・英語で遊ぼう・体操教室

毎週2回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・職場体験・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
参加なし				

(イ) 地域交流

- a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施
- b 園庭開放 5月～2月、月1回実施（コロナの為中止）
- c 地域清掃 毎月1回（第2土曜日：コロナの為中止）
- d 市民センター夏まつりに参加（コロナの為中止）
- e 永犬丸市民センターまつりに参加（子どもの作品展示：コロナの為中止）
- f 育児サークルどんぐりっこ・ほのぼのルームに参加（コロナの為中止）

(ウ) 家庭学級

年	月	日	行事	内容
コロナの為中止				

(エ) 子育て支援（永犬丸市民センター）

a ほのぼのルーム（未就園児対象：コロナの為中止）

b どんぐりっこ 5月～2月、月1回（未就園児対象：コロナの為中止）

(オ) 実習生

a 保育実習 2月（1名）

b 看護実習 6月（5名）7月（2名）

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	4	27	子どもの言葉を豊かにする研究研修会	言葉の調査票～4・3月生まれの比較～	レインボープラザ	北九州市保育士会	1
		8	乳児保育研修	乳幼児の発達	web (Zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
	5	9	第1回実習指導担当者研修	人材育成の観点から学ぶ保育所実習指導の基本	AIM	北九州市保育士会	1
		15	乳児保育研修	乳児の食育と栄養	web (Zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
		15	乳児保育研修	子どもの最善の利益を目指して	アートホテル小倉ニューカマリ	北九州市保育士会	1
		16	乳児保育研修	乳児保育の環境と保育計画を考える	web (Zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
		31	乳児保育研修	子どもの健康	web (Zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
	6	5	幼児教育研修	すべての子どもは最善の利益を考える	アートホテル小倉ニューカマリ	北九州市保育士会	1
		14	第65回全国私立保育園研究大会	行政報告	アステイ徳島	全国私立保育園連盟	1
		15	第65回全国私立保育園研究大会	行政報告	アステイ徳島	全国私立保育園連盟	1
		16	第65回全国私立保育園研究大会	行政報告	アステイ徳島	全国私立保育園連盟	1
		23	乳児保育研修	乳児保育の役割と三つの機能について	ウエル戸畑	北九州市保育士会	1
		30	乳幼児の水遊び・プール活動の安全管理研修	乳幼児の水遊び・プール活動の安全管理について	web (youtube)	北九州市社会福祉研修所	1
	7	1	2023指導者研修会	組体操・運動会で役立つ競技種目集	北九州パレス	北九州市保育士会	2
		5	第一回給食部会	行事食について献立案検討	筒井市民センター	北九州市	1
		6	地域子育て支援研修	地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討	レインボープラザ	北九州市保育士会	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	7	13	第1回給食献立研修	基礎知識と安全性	ウエル戸畑	北九州市	1
		25	保育ゼミナール (保護者支援・子育て支援/マネジメント)	未満児の発達とその課題	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		25	リーダー研修	すべてのこども・おとなに知ってほしいこども基本法とは？	リーガロイヤル小倉	北九州市 保育士会	1
		1	障害児研修	障害児保育の現状	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		7	障害児研修	グレーゾーンの子どもたちへの支援	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
	8	21	保育ゼミナール (保護者支援・子育て支援/マネジメント)	3～5歳児の発達課題と保育	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		29	障害児研修	保育所・認定こども園における障害やリスクのある子どもの保育	ウエル戸畑	北九州市 社会福祉 研修所	1
		31	第7回九州保育三団体研究大会	「すべての子どもの権利と育ちを保証していく社会の実現」をめざして	アクロス福岡	九州保育三団体	1
	9	1	第7回九州保育三団体研究大会	「すべての子どもの権利と育ちを保証していく社会の実現」をめざして	アクロス福岡	九州保育三団体	1
		4	相談員研修	電話相談について	男女共同参画センタームーブ	北九州市 保育士会	1
		11	保護者支援・子育て支援研修	保護者支援・子育て支援の意義	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		13	子どもの言葉を豊かにする研究研修会	一人一人の子どもへの支援・保育の充実	レインボープラザ	北九州市 保育士会	1
		14	保護者支援・子育て支援研修	現在のメディアの状況と乳幼児の発達	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		19	保育ゼミナール (保護者支援・子育て支援/マネジメント)	保育における「表現」とは？	ウエル戸畑	北九州市 社会福祉 研修所	1
		21	保護者支援・子育て支援研修	保育のリスクを考える	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	10	24	保育ゼミナール (保護者支援・子育て支援/マネジメント)	「保育 今までとこれから」求められる役割とは	ウエル戸畑	北九州市 社会福祉 研修所	1
		31	第42回全国私立保育園連盟青年会議広島大会		広島国際会議場	全国私立 保育園連盟	1
		1	第42回全国私立保育園連盟青年会議広島大会	子どもたちと平和な未来を	広島国際会議場	全国私立 保育園連盟	1
		2	第42回全国私立保育園連盟青年会議広島大会		広島国際会議場	全国私立 保育園連盟	1
		3	第61回北九州市保育研修大会	活動報告・実践報告	北九州 レイホール	北九州市・ 北九州市 保育所連盟	10
		6	幼児保育研修	子ども同士のトラブル・順番などじゃんけんで決めませんか？	アートホテル小倉 ニューカグリ	北九州市 保育士会	1
		8	保健衛生・安全対策研修	保育所における感染症対策～ガイドラインに基づいて～	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		9	第2回給食献立伝達研修	誕生会の献立を試作	ウエル戸畑	北九州市	1
		9	第8回九州保育三団体青年部協議会佐賀大会	カプラについて	ロイヤルチェスター佐賀	九州保育 三団体	1
		10	第8回九州保育三団体青年部協議会佐賀大会	カプラについて	ロイヤルチェスター佐賀	九州保育 三団体	1
	11	14	保育ゼミナール (保護者支援・子育て支援/マネジメント)	事例を通して保育を見直す	ウエル戸畑	北九州市 社会福祉 研修所	1
		20	保健衛生・安全対策研修	保育者の防災意識を高めるために	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
		21	保育所における食事に関する研究・研修会	各区の新メニュー立案	ウエル戸畑	北九州市 保育所連盟	1
		22	保健衛生・安全対策研修	「保育計画の作成と活用」「事故防止及び健康安全管理」	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
	12	4	第3回給食部会	献立反省	筒井市民センター	北九州市	1
		18	保護者支援・子育て支援研修	保護者に対する相談援助の方法と技術	ウエル戸畑	北九州市 社会福祉 研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	1	24	九州保育三団体青年 部協議会IN宮古島	宮古島の歴史について 代表者会議	宮古島未来 創造センター	九州保育 三団体	1
		25	九州保育三団体青年 部協議会IN宮古島		宮古島未来 創造センター	九州保育 三団体	1
		26	九州保育三団体青年 部協議会IN宮古島		宮古島未来 創造センター	九州保育 三団体	1
		31	私立保育園連盟 他都視察・交流事業	保育園・こども園 視察	TKP千葉駅東 口ビルセンター	北九州市私立 保育園連盟	1
	2	1	私立保育園連盟 他都視察・交流事業		TKP千葉駅東 口ビルセンター	北九州市私立 保育園連盟	1
		1	言葉を豊かにする研 究研修会	言葉の調査票で分 かってきたこと	アートホテル小倉 ニュータカリ	北九州市 保育士会	1
		1	食育アレルギー研修	アレルギー疾患の理 解	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	2
		5	保幼小連携研修会	幼児期を幼児期とし て	web (Teams)	北九州市	1
		6	食育アレルギー研修	栄養に関する基礎知 識	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	2
		9	第41回 北九州市保 育士研究研修会	専門性の向上につい て子どもが教えてく れたこと～乳幼児保 育の現場から～	アートホテル小倉 ニュータカリ	北九州市保育 士会	1
		13	北九州市保育セミ ナー2023	加速する少子化と今 後の保育政策～問わ れる保育の質と経営	リーガロイヤルホテル 小倉	北九州市 私立 保育所連盟	1
		15	第17回特別セミナー	激動の時代に突入し た今、決断する準備 はできているか。～ 変革の時は今～	浅草ビューホテル	全国私立保育 連盟青年会議	1
		16	第17回特別セミナー		浅草ビューホテル	全国私立保育 連盟青年会議	1
		19	第2回実習指導者研修 会	人材育成の観点から 学ぶ保育所実習指導 の基本	ステーションホテル小 倉	北九州市保育 士会	1
		20	食育アレルギー研修	食を通した保護者へ の支援	web (Zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	2
		20	2024指導者LaQ研修会	LaQコマ大会・創作可 動式LaQ組み立て	北九州パレ ス	北九州市私立 保育園連盟青 年会議	2

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	2	26	第3回給食献立伝達研修	基本的生活習慣習得	ウエル戸畑	北九州市	1
		27	福岡保育三社会3市合同研修会	見ヨ。東方ハ紅ク燃エテイル！	ソラリア西鉄ホテル	福岡県青年会議	1
		28	福岡保育三社会4市合同研修会		ソラリア西鉄ホテル	福岡県青年会議	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
5	4	7	園内研修	書類の書き方、提出期限、提出方法について	17
		25	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	16
	5	11	園内研修	AEDの使い方	20
		30	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
	6	16	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
		28	園内研修	保護者対応について・運動会話し合い	17
	7	13	園内研修	楽器の使い方、人間力	18
		28	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
	8	-	園内研修	第三者評価について	-
		31	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	17
	9	20	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
		-	園内研修	人権について	-
	10	10	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	20
		11	園内研修	衣装について	17
	11	-	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
		28	園内研修	保育目標について	22
	12	19	園内研修	お店屋さんごっこの品物提案・作成	19
		26	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	21
6	1	10	園内研修	みんなで遊ぼう	18
		29	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	21
	2	13	園内研修	発達を目安について (0/1/2/3歳児)	17
		26	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	20
	3	12	園内研修	発達を目安について (4/5/ANNEX)	16
		19	ケース検討会議	気になる子どもについての討議 振り返り、まとめ	18

※リーダー会議：随時

職員会議：月1回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(单位:人)

(ア) 認定こども園ICHIGO

[illegible]

(イ) ANNEX ICHIGO

(单位:人)

[illegible]

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）（単位：人）

[illegible]

ウ 延長保育利用児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	20	21	20	20	20	21	22	22	23	24	24	24	21.8
一日平均実利用数	8	8.9	7.6	7.4	7.1	8.8	9.9	8.3	9.3	8	9.7	9.2	8.5

エ 一時保育利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	0	0	0	0	3	0	0	1	1	2	2	3	1.0

オ 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	3	7	10	6	4	3	12	9	9	5	4	6	6.5

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	ICHIGO インシデント	ANNEX インシデント	合計
噛みつき	0	6	0	6
打撲	3	152	18	170
擦り傷	0	121	7	128
切り傷	3	26	5	31
挟み傷	0	11	0	11
ひっかき傷	0	41	6	47
その他	0	37	1	38
合計	6	394	37	431

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
5	4	17	打撲	頭部打撲症	特になし/永犬丸小児科
	5	22	打撲	頭部打撲症	特になし/永犬丸小児科
	5	22	打撲	外傷性歯の打撲	特になし/えいのまる小児歯科
	10	20	切り傷	右側頭部挫創	縫合/おおた整形外科
		30	切り傷	上口唇裂傷	特になし/はなさとデンタルクリニック
6	2	8	切り傷	下顎挫傷	縫合/だざい形成外科クリニック でぐち歯科・こども歯科

(5) 令和5年度事業計画の達成度

ア 平成令和5年度基本方針に関して

令和4年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根差す施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化と職員育成・業務の見直し(エ)「認定こども園 ICHIGO」「ANNEX ICHIGO」「ANNESSE ICHIGO」の連携を徹底(オ)「幼児教育・保育の無償化に伴い、公定価格(運営費)の計算方法の見直しなど情報収集に努めると掲げ、地域交流など達成できていない部分はあるが、おおむね達成できた。

イ 令和5年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になり、行事を見直し、行事を行えることができた。

施設見学については、園内で希望者すべてを断ることなく希望や予定を合わせ、受ける入れることができた。

ケガ等の際の保護者への対応の見直しについては、会議などで周知し、園内研修を通して帳票と共に説明して大きな事故もなく見直しできた。だが、ケガについては永遠の課題になるので今後も気を付けていきたい。

利用者が園へ入ることが全くできないため、職員と保護者のコミュニケーションの強化と子ども、保育の様子を知らせるため(SNS、写真)など使用し、伝えることができた。

課外教室の充実については、「学研教室」を追加し、今後も保護者ニーズにあったものを増やしていきたい。

(イ)「地域に根差す施設づくり」について

認定こども園 ICHIGO 及び ANNEX ICHIGO 周辺の市所有の花壇のサポーターを継続的にこなっている。

主任を中心に地域の方との交流や活動をすることができた。

HP(ホームページ)やSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)については、保護者向けの行事などの発信することができた。

各クラスの老朽化した場所の修繕などについては、多少行うことができたが、業者の働き手不足で来年度への持ち越しもあるため、次年度からも中長期に計画し行っていこうと思う。

パンフレット、HP(ホームページ)のリニューアルは完成したが、リクルートページの強化については来年度も継続して作成していく。令和7年度に完成予定。。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

職員の資質の向上については、クラスリーダー、中堅保育士、各分野別リーダーの育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

働きやすい職場づくりに関しては、会議等で建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、必要な休暇を取りやすい職場づくり等を心掛けて、職場環境整備に努めたが今後もずっと課題である。

常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止の意識の徹底、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報の管理の徹底、守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報の管理は、保護者にも適切な理解と協力を求める必要があり、丁寧な説明を行い、同意を得ながら漏えい事故防止に努めた。また、今後も情報管理の安全性に関して、危機感を損なわず慎重に対処していける職員を育成していきたい。

(保護者向け連絡ツール) きっずノートについては、定着している。

感染症については、確実な検温の徹底、玄関での子どもの受け入れの徹底、各クラスの換気の実施、消毒の徹底、濃厚接触の特定、部分休園の対応、保護者対応、職員対応など前年に比べスムーズに行うことができた。

(エ)「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」及び「ANNESSO ICHIGO」の連携について

「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」については連携を図ることが出来ている。

5 ANNESSO ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
5	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員に対する辞令交付式
5	12	20	ANESSO ICHIGO 指導監査	北九州市子ども家庭局による書面指導監査

イ 行事

年	月	日	行事	内容
5	4	1	入園進級式	園児のみ
		19	春の遠足	三ヶ森4丁目公園に行き、園内に戻り弁当を食べた
	5	2	園児対象健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳児・1歳児・2歳児の健康診断を行う
		10	ウォークラリー	身近な植物や虫などをみつけウォークラリーを、三ヶ森4丁目楽しんだ後公園で体操をする。
	6	14	ICHIGOキッズフェスティバル	園児が浴衣や甚平を着て金魚すくいや輪投げなど、室内でゲームをした
	7	7	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした。
		10	人形劇	2歳児がICHIGOに行き一緒に「からこま座」の人形劇を観る
	8	-	水かけまつり	天候の関係で、中止
	9	16	運動会ごっこ	保護者参加 室内でかけっこや運動遊びを行った
	10	18	秋の遠足	「三ヶ森4丁目公園」へ遠足へ行った
		31	ハロウィン パーティ	絵本を見た後、新聞紙でかぼちゃを作る。クマ役の職員にお菓子をもらったのち、踊りを踊って楽しんだ

年	月	日	行事	内容
5	11	14	焼き芋	2歳児が電停を使い、ICHIGOまで行き焼き芋を食べ て楽しむ
		15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰った
		18	お遊戯会	クラス入れ替え制で全クラス行う。
	12	25	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った。
6	1	22	クッキング (2歳児)	ピザトーストのトッピングを行い、ホットプレー トで焼いて食べた
		-	個人懇談	希望制にて懇談を行う
	2	1	節分(豆ま き)	全園児が各クラスで豆まきをした
		22	お店屋さん ごっこ	全園児で作った商品で買い物ごっこを楽しむ
		2	ひなまつり	パネルシアターを楽しんだあと、小道具を持ちお 雛様・お内裏様になりきって写真撮影を行う。
	3	19	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		29	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

年	月	日	行事	内容
			金山川アート ギャラリー出 展	コロナのため中止

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎週2回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
コロナの為中止				

(イ) 実習生

なし

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	7	14	第1回地域型保育事業者等給食担当者研修	調理実習・試食・反省	ウエル戸畑	北九州市	1
	8	9	障害児保育研修	障害児保育とは	web (Zoom)	北九州市保育士会	1
	9	5	障害児保育研修	園での重要な関わり	アートホテル小倉ニュータカリ	北九州市保育士会	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
5	4	13	園内研修	書類の書き方、提出物の期限、提出方法	7
	5	11	園内研修	AEDの使い方について	4
	6	21	園内研修	運動会について	6
	7	20	園内研修	保護者対応について	5
	8	15	園内研修	第三者評価について（回覧及び記入）	—
	9	16	園内研修	お遊戯会について	5
	10	3	園内研修	絵本を楽しむ環境について	5
	11	28	園内研修	人権について	6
6	12	27	園内研修	おみせやさんごっこの物品提案	5
	1	9	園内研修	行事内容検討	5
	2	29	園内研修	発達が目安（生活面・遊び）	5
	3	21	園内研修	年度の振り返り、新年度の計画	5

（2）利用状況

ア 園児の入所状況

(单位:人)

(ア) ANNESSO IHCIGO

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数		25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在 籍 児 童 数	未満児	11	11	12	16	18	17	18	18	18	18	18	18	193
	合計	11	11	12	16	18	17	18	18	18	18	18	18	193
新 入 園 児	未満児	0	0	2	4	2	1	1	0	0	0	0	0	10
	合計	0	0	2	4	2	1	1	0	0	0	0	0	10
退所園児数		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）（単位：人）

[illegible]

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	1	1
打撲	0	26	26
擦り傷	0	13	13
切り傷	0	4	4
挟み傷	0	2	2
ひっかき傷	0	18	18
その他	0	6	6
合計	0	70	70

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
5	7	31	打撲	外耳部打撲	特になし/永犬丸小児科受診
6	3	1	打撲	外傷性歯の打撲	特になし/えいのまる小児歯科受診
		22	打撲	外傷性歯の打撲	特になし/えいのまる小児歯科受診

令和5年度事業計画の達成度

ア 平成令和5年度基本方針に関して

(ア) 利用者の側に立つサービスの提供、(イ) 地域に根差す施設づくり、(ウ) 事業の展開を支える機能の強化 (エ) 連携施設との連携計画を掲げたが、達成できていない部分があるがおおむね達成できた。

イ 令和5年度事業内容に関して

(ア) 「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になり、行事を見直し、行事を行えることができた。

施設見学については、希望者すべてを断ることなく希望や予定を合わせ、受ける入れることができた。

(イ) 「地域に根差す施設づくり」について

HP (ホームページ) やSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) については、保護者向けの行事などの発信することができた。

(ウ) 「事業の展開を支える機能の強化」について

働きやすい職場づくりに関しては、会議等で建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、責任者を中心に必要な休暇を取りやすい職場づくり等を心掛けて、職場環境整備に努めたが今後もずっと課題である。

常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止の意識の徹底、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報管理の徹底、守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報の管理は、保護者にも適切な理解と協力を求める必要があり、丁寧な説明を行い、同意を得ながら漏えい事故防止に努めた。また、今後も情報管理の安全性に関して、危機感を損なわず慎重に対処していける職員を育成していきたい。

(エ) 「連携施設との連携を計画」について

コロナ禍の中ということもあり、連携はほとんどできなかった。
連携施設の契約については継続してアプローチする。

きッズノートについては、定着している。

新型コロナウイルス感染症については、確実な検温の徹底、玄関での子どもの受け入れの徹底、各クラスの換気の実施、消毒の徹底、濃厚接触の特定、部分休園の対応、保護者対応、職員対応など前年に比べスムーズに行うことができた。

5 認定こども園 SAKURANBO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	行 事	内 容
5	4	1	辞令交付式	コロナの為中止
5	8	31	監査	北九州市保健福祉局総務部一般指導監査による実地監査を受けた

イ 行事

年	月	日	行 事	内 容
5	4	1	入園進級式	保護者も参加して入園進級式を行った
		27	健康診断	嘱託医：西野小児科医院長西野裕先生による、0歳～5歳児までの健康診断を受けた
		28	春の遠足	3か所に分かれて春の遠足を行う
	5	24	芋苗え植え	3・4・5歳児で300本の苗を植えた
		29	角笛シルエット劇場	若松市民会館にて年長児がシルエット劇場を観劇する
	6	1	クッキング	4歳児が収穫したじゃがいもを使ってサンドイッチを作った
		2	クッキング	5歳児が収穫したじゃがいもを使ってガレットを作った
		5	保育参観	6/5～6/9の間で保育参観に参加していただき給食の試食も行った。
		14	歯科検診	4・5歳児があらたけ歯科医による検診を受けた。
		23	お泊り保育	家族から離れ「おひさまのいえ」で様々なレクレーションをして遊んだ後、園に宿泊する（5歳児）
		24		
	7	4	プール開き	水遊びやプール遊びでの約束事を知る
		7	七夕まつり	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした
		8	SAKURANBO フェスティバル	保護者と一緒にくじやゲーム、テイクアウトコーナーなどの催し物を楽しんだ
		27	枝豆収穫	年長児が育てた枝豆を自ら収穫し、持ち帰った。

年	月	日	行 事	内 容
5	8	5	卒園児同窓会	小学1年から4年生までの卒園児54名が遊び、カレーを食べた
		25	プール納め	ホールでプール納めをしたあと、全園児でプールや水遊びをした
	9	22	運動会リハーサル	3・4・5歳児の運動会リハーサルを行った
		7	運動会	3・4・5歳児が本城小学校の体育館で運動会を行った
	10	11	運動会ごっこリハーサル	0・1・2歳児の運動会ごっこのリハーサルをした
		14	運動会ごっこ	0・1・2歳児が保護者と一緒に運動会ごっこに参加した
		20	秋の遠足	雨天の為3・4・5歳児はバスに乗って元気のもりにでかけ、0・1・2歳児は園内遠足をした
		26	園児健康診断	嘱託医：西野小児科医院長西野裕先生による、0歳～5歳児までの健康診断を受けた
		27	芋ほり	5月に植えた芋を3・4・5歳児が掘った
	11	11	本城市民センター文化祭	4・5歳児が作品を展示した
		14	焼き芋	焼き芋をして全園児で食べた
		21 22	お遊戯会リハーサル	演目内容や衣装などを確認した
		30	お遊戯会通しリハーサル	プログラム順にリハーサルを行った
		5 6	お遊戯会 DVD撮影	お遊戯会の演目を事前撮影した
	12	9	お遊戯会	3部制で保護者観覧でお遊戯会を行った
		12	ギラヴァンツサッカー指導	4・5歳児がギラヴァンツのコーチによるサッカー体験をした
		25	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行ない、プレゼントをもらった
		17	ギラヴァンツサッカー指導	4・5歳児がギラヴァンツのコーチによるサッカー体験をした
6	1	19	ピアノコンサート	全園児で土井先生によるピアノ演奏を聴き楽しんだ
		26	お店屋さんごっこ	5歳児が定員になり買い物ごっこやカフェを楽しんだ
	2	2	節分	節分の由来を知り、豆まきをした

年	月	日	行 事	内 容
6	2	10	保育参観	日頃の保育の様子を保護者に見てもらった
		13	お茶会	硬筆の櫻井先生を講師に招き、日本の伝統に触れる事ができた
		25	おひらきフェスタ	5歳児が参加し、歌・遊戯を披露した
	3	1	ひな祭り	ひな祭りの由来を知り、お祝いをした
		5	クッキング	4歳児がクッキーを作り、全園児に配り食べる
		8	お別れ遠足	5歳児がバスに乗って福岡市科学館に行った
		12	クッキング	3歳児が芋餅2種類を作り、食べた
		16	卒園式	5歳児15名と保護者とで卒園式を行った
		18	クッキング	年長児がカレーを作り食べた
		22	お別れ会	年長児に向けて各クラスが出し物を披露した
		29	修了式	修了証書授与式を行い、進級する喜びを知る

※ 定例行事

毎月 1 回実施 避難訓練・誕生会

毎月 4 回実施 硬筆・英語で遊ぼう・体操教室

毎週 3 回 リーダー会議 毎月 1 回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

(イ) 地域交流

a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施（未就園児対象）

b 園庭解放 (コロナの為中止)

c 絵本の貸し出し (コロナの為中止)

- e 本城小学校学校行事 (園長のみ参加)
- f 1日保育士体験 (コロナの為中止)
- g 本城市民センター文化祭 (4.5歳児作品のみ展示)
- h おひらきフェスタ (5歳児のみ出演)

(ウ) 家庭学級 (コロナの為中止)

(エ) 子育て支援(本城市民センター)

- a 子育て支援フリースペース (未就学児対象)

* R4.7月とR4.1月のさくらんぼ広場への参加

(オ) 実習生

- a 保育実習 8月 (1名) 10月 (1名) 2月 (2名)
- b 看護実習 6月 (2名) 7月 (3名) 9月 (7名)

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	4	27	第1回子どもの言葉を豊かにする研究研修会	3歳児の言葉について	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
	5	8	乳児保育研修	乳幼児の発達	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		9	第1回実習指導担当者研修会	実習生の受け入れについて	AIM	北九州市保育士会	1
		15	乳児保育研修	乳児の発達に応じた保育内容	アートホテル小倉 ニュータカワ	北九州市保育士会	1
		15	乳児保育研修	乳児の食育と栄養	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		16	乳児保育研修	環境と保育計画を考える	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		31	乳児保育研修	子どもの健康	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	6	15	水遊び・プール活動の安全管理研修	水遊び・プール活動の安全管理	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		23	乳児保育研修	乳児保育の意義	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
	7	1	2023指導者研修会	運動会で役立つ競技種目集	北九州パレス	北九州市私立保育連盟	2
		5	第1回給食部会	保育まつりについて	筒井市民センター	八幡西保育士会	1
		6	地域子育て支援研修	多様なニーズを抱えた保護者支援	レインボープラザ	北九州市保育士会	1
		13	第1回給食献立伝達研修	中期献立伝達等	ウエルとばた	北九州市	1
		25	保育ゼミナール	未満児の保育とその課題	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		25	リーダー研修	こども真ん中社会	リーガロイヤルホテル小倉	北九州市保育士会	1
		28	HANAセミナー	楽器の正しい使い方	下関市生涯学習プラザ	HANA音楽研修所	2
	8	1	障害児保育研修	障害児保育の現状	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		7	障害児保育研修	感覚統合について	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		9	障害児保育研修	障害の理解について	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		17	カウンセリング研修	傾聴技法・応答技法	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		18	カウンセリング研修	カウンセリングの理論・過程	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	8	21	保育ゼミナール	3～5歳児の発達課題と保育	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		28	障害児保育研修	障害やリスクのある子どもの保育	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		30	カウンセリング研修	総合的演習のまとめ	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		31	第7回九州保育三団体研修大会	保育行政の動向と課題	アクロス福岡	九州保育三団体協議会	1
	9	1	第7回九州保育三団体研修大会	分科会・記念講演	アクロス福岡	九州保育三団体協議会	1
		4	相談員研修	電話相談事例	男女共同参画センター・ムーヴ	北九州市保育士会	1
		5	障害児保育研修	障害児保育の環境	アトホテル小倉ニュータカリ	北九州市保育士会	1
		11	保護者支援・子育て支援研修	地域における子育て支援	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		13	第2回子どもの言葉を豊かにする研究研修会	6月の調査報告・事例発表	レインボープラザ	北九州市保育士会	2
		14	保護者支援・子育て支援研修	保護者支援・子育て支援の意義	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		19	保育ゼミナール	保育における表現とは	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		20	幼児教育研修	小学校との接続	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		21	保護者支援・子育て支援研修	保護者に対する相談援助	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	10	16	幼児教育研修	保育内容の研究	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		24	保育ゼミナール	他機関との連携	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		27	幼児教育研修	幼児教育の意義	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	11	2	第61回北九州市保育研修大会	北九州市の保育行政について	アトホテル小倉ニュータカリ	北九州市保育士会	1
		3	第61回北九州市保育研修大会	基調報告・記念講演	北九州リネホル	北九州市保育士会	10
		8	保健衛生・安全管理研修	保育所における感染症対策	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		9	第2回給食献立研修	後期予定献立	ウエルとばた	北九州市	1
		14	保育ゼミナール	事例を通して保育を見直す	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		20	保健衛生・安全管理研修	事故防止及び健康安全管理	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	11	21	第47回保育所等における食事に関する研究研修会	コロナ禍での食育活動	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		22	保健衛生・安全管理研修	保健計画の作成と活用	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	12	4	第3回給食部会	献立反省・情報交換	筒井市民センター	八幡西保育士会	1
		18	保護者支援・子育て支援研修	保護者に対する相談援助の仕方	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
6	1	30	保育所（園）調理員研修	子どもの食育と栄養	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	2	1	第3回子どもの言葉を豊かにする研究研修会	3歳児の言葉について	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		5	保幼少連携研修	小学校との接続	w e b 研修	北九州市教育委員会	1
		6	食育アレルギー研修	アレルギーの基礎	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		9	第41回北九州市保育士研究研修大会	こども真ん中社会におけるウエルビンイングとは	アートホテル小倉ニューカブリ	北九州市保育士会	1
		19	第2回実習指導担当者研修会	保育の質と人材	JRステーションホテル小倉	北九州市保育士会	1
		21	食育アレルギー研修	食育計画の作成と活用	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		21	2024指導者LaQ研修会	LaQの遊び方・実践	北九州パレス	北九州市私立保育連盟	3
		26	第3回給食献立研修	基本的生活習慣獲得	ウエルとばた	北九州市	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
5	4	17	園内研修	前年度の振り返り・今年度の園内研修の計画	9
		17	園内研修	発達の日安（現在の様子）	11
	5	25	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		25	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（4月～5月分）	10
		16	園内研修	保護者対応・電話対応	10
	6	28	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		28	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（5月～6月分）	12
		14	園内研修	お薦めの絵本・わらべ歌	12
	7	27	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		27	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（6月～7月分）	10
		8	園内研修	人権について	12
	8	17	ケース検討	気になる子どもについての討議	8
		17	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（7月～8月分）	8
		8	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（8月分）	9
	9	15	園内研修	楽器の指導の仕方	13
		27	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		12	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（9月分）	10
	10	30	園内研修	みんな遊ぼう（年長児）	10
		30	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		15	園内研修	感染症について	12
	11	28	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		28	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（10月～11月分）	10
		12	園内研修	園舎内外の危険箇所・ヒヤリハット	10
	12	19	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		19	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（10月～11月分）	10
6		17	園内研修	折尾警察署の方と一緒に不審者対応	13
	1	24	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		24	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（1月分）	11
		2	園内研修	発達の日安（来年度に向けて）	13
	2	16	ケース検討	気になる子どもについての討議	13
		16	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（1月～2月分）	13
	3	1	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（2月分）	13
		6	園内研修	今年度のふりかえり・まとめ	12

※リーダー会議：随時

職員会議：月1回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数	25	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	294
在籍児童数	以上児	45	45	44	43	43	43	43	43	43	43	43	521
	1号	9	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	138
	満3歳児			1	2	2	2	3	3	4	4	4	27
	未満児	42	42	41	40	44	45	48	47	48	47	47	538
	合計	96	97	97	97	101	102	105	105	106	106	106	1,224
新入園児	以上児		1										1
	未満児					4	1	3		1			9
	合計		1			4	1	3		1			10
退所園児数									1				1

イ 延長保育利用児童数 (保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00) (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1.3
一日平均実利用数	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0.13

ウ 延長保育利用児童数 (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	14	19	17	17	16	18	21	21	20	20	19	19	18.41
一日平均実利用数	5.1	5.9	6.5	5.5	4.3	6	8	7.2	4.1	5.9	6	5.8	5.8

エ 一時保育利用児童数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	3	8	31	4	2	3	8	1	2	7	2	8	6.5

才 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	3	6	8	2	3	10	5	7	3	4	6	0	4.75

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	14	14
打撲	1	34	15
擦り傷	0	33	33
切り傷	0	7	7
挟み傷	0	3	3
ひっかき傷	0	17	17
その他	6	9	15
合計	7	117	124

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
5	5	13	その他	左肘骨折	産業医科大学病院受診 キブス固定計9回通院
	5	23	その他	右結膜擦過創	眼科受診 経過観察後異常なし
	8	2	その他	舌裂傷	小児歯科受診 経過観察後異常なし
	9	15	打撲	右全額部打撲	脳神経外科受診 経過観察後異常なし
	11	6	その他	外傷性亜脱臼	歯科受診 経過観察後異常なし
		7	その他	歯の外傷	歯科受診 経過観察後異常なし
6	2	16	その他	外傷性歯の脱臼	歯科受診 経過観察後異常なし

(5) 令和5年度事業計画の達成度

ア 令和5年度基本方針に関して

令和5年度は、前年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根ざす施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化、を掲げたが、5月に新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、行事等の部分では達成できているところもあるが、事業を支える機能の強化については、達成できていない。また、認定こども園 SAKURANBO に移行して2年、ICHIGO と連携して保育・運営を進めたが、徐々に軌道にのってきた。

イ 令和5年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和5年度も、感染症対策の中での保育となったが、5月からは5類となり、少しずつ以前の様子にもどりつつあり、その中でも常に「子どもの人権」、「個人情報保護」を意識し、職員の言葉遣いや態度などに配慮し、守秘義務の遵守についての努力を継続した。

また、保育実践についても、感染症対策をとりながら、年齢別に保育計画、指導計画、及び個別計画を作成し、成長に応じた適切な保育を行った。

特に、園行事に関しては、感染症対策をとりながらも、徐々にもとに戻しつつ、保護者にアンケートを実施し、保護者のニーズを把握しながら、行事に活かしていくことができるように努めた。

また、職員の質的向上を目指し施設内外での研修に、またオンラインでの研修には、積極的に参加させることで、実践に必要な知識・技術の習得と充実に努めた。

また、処遇改善に伴うキャリアアップに伴い、クラスのリーダー、中堅保育教諭、各分野別リーダー、の育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

3歳以上児の保育の無償化に伴い、給食を主食も提供する完全給食にしたが、子どもたちには温かいご飯が食べられる、保護者には

朝の忙しい時間助かる、と好評である。

さらに、統合保育（気になる子どもの対応）については、北九州市立総合療育センター地域支援担当保育士の指導を受けながら、子どもの個性を活かしながら、まわりの子どもたちとの関係構築を行うことで、楽しく保育園生活を送ることができるように心がけた。

各種園だよりを活用して、広く地域に子育て情報を発信したり、未入園児の保護者からの相談を受けたりするなど、子育て支援に取り組んだが、これも新型コロナウイルス感染症により、今年度は、行ったものの参加が少なかった。

また、菜園活動で、季節の野菜を育て収穫して食べたり、保護者へのレシピの紹介、アレルギーの子どもへの除去食の提供など、食育にも力をいれた。

天候に左右されず遊べるデッキを有効利用し、子どもたちがのびのび遊ぶ姿を保護者に紹介したところ、楽しそうに遊んでいると保護者にも喜ばれている。また0、1、2歳児の運動会ごっこもデッキで行ったが、見やすく応援しやすいと好評だった。

苦情・意見・要望については、その都度、保護者と話し合い、解決していくように努めた。その学びを活かした保護者対応を心がけ、意見や苦情につながるような事例はなかった。今後も継続して、子ども、保護者の様子の変化等を敏感に察知できる能力を向上させ、かつ、速やかな対応に努めていく。

令和2年2月より、新型コロナウイルス感染症の流行で、子どもも職員も、消毒、手洗い、マスク着用等衛生面には十分注意し、体調管理にも気をつけた。また北九州市からの衛生管理マニュアルを職員間で回覧し、周知徹底している。その中で、国の方針に従い、R5.3.13より、子どものマスクについては保護者の判断で自由にしたが、保育教諭も5月から、マスクの着用を本人の判断に委ねた。

（イ）「地域に根ざす施設づくり」について

「幼・保・小連携」の一環として、小学校教師による一日保育士体験は5年目となったが、今年度も、新型コロナウイルス感染症により中止となる。

地域の文化祭や敬老祝賀会では芸能出演の依頼を受け、年長児が歌やダンス、楽器演奏などを披露し、高齢者からあたたかい拍手を浴びたことで、勇気と自信につながる貴重な体験をすることができ

ていたが、今年度は R6.2 月にあった「御開フェスタ」で披露することができた。

高齢者施設「風の家」との交流については、利用者に七夕飾りを贈りまた、敬老の日のプレゼントは年長児が、フォトスタンドを作って渡し喜ばれた。

今後も、行事を中心とした同施設や地域の年長者との交流、「幼・保・小連携」を、園児の心の育ちや学びに活かしていきたい。

また、未入園児を対象とした「一緒に遊びましょう」は、地域に周知され、参加者が増えていたが、今年度も新型コロナウイルス感染症に 10 月から再開したが、参加は少なかった。本城市民センターの未入園児による「さくらんぼ広場」には職員を派遣して、子育て支援と地域交流をしている。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

令和 5 年度はすべての面で、感染症対策をとりながらの事業展開となった。保育の目標を達成するために、基本となる、保育理念・保育方針・保育目標に基づいた実践を行い、さらに、保育内容の自己評価及びこれに基づく改善に努めた。

職員の質の向上に向けては、子供の保育及び、保護者に対して保育に関する助言が、適切に行えるように、自己評価に基づく課題等を踏まえ、できるだけ保育園内外の研修を受講させた。

研修内容は、報告会議等の場で共有する環境を設けることで、知識を共有し職員全体の意欲向上も図った。

今後とも、有意義な研修を、計画的効果的に活用していきたい。令和 4 年 4 月より、「認定こども園 SAKURANBO」に移行したので、姉妹園の「認定こども園 ICHIGO」と連携して、職員の資質向上に取り組んでいきたい。

7 かぜの子保育園

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
5	4	27	防災	避難・通報訓練
	5	15	防災	高潮の際の避難（風の家、認定こども園 SAKURANBO 合同）・通報訓練
		30	防災	避難・初期消火訓練
	6	1	健康管理	園児健康診断
		8	健康管理	園児歯科健康診断
		12	防災	不審者訓練
		22	防災	避難・初期消火訓練
	7	10	防災	避難・通報訓練
		25～27	福利厚生	職員健康診断
		26	立ち入り調査	北九州市子ども家庭局子ども家庭部保育課による指導・監査
		28	防災	避難・通報訓練
	8	28	防災	避難・通報訓練
	9	14	防災	不審者訓練・通報訓練
		28	防災	避難・通報訓練
	10	13	防災	地震の際の避難
	11	16	健康管理	園児健康診断（第2回）
		24	防災	避難・通報訓練
		28	立ち入り調査	北九州市子ども家庭局子ども家庭部保育課による指導・監査
	12	22	防災	不審者訓練
		29	防災	避難・通報訓練
6	1	29	防災	避難・通報訓練
	2	22	防災	延長時間の地震訓練
		28	防災	避難・初期消火訓練
	3	25	防災	避難・通報訓練

イ 行事

年	月	日	項目	内容
5	4	17	進級式	特別メニューとお祝いイベント
	5	2	こどもの日の集会	特別メニューとお祝いイベント
		25	遠足	本城陸上競技場でおやつとジュースを飲む
	7	6	七夕会	季節の催事を体験する
		下旬	水遊び	年齢に応じたプール遊び開始（9月上旬まで）
	9	14	敬老の日	敬老の意味を知る
		28	お月見	観月の雰囲気を楽しむ
	10	5、11	芋ほり	季節の催事を体験する
		12	遠足	本城陸上競技場でおやつとジュースを飲む
		31	ハロウィン	ハロウィンの風習を楽しむ
	12	25	クリスマス会	季節の催事を体験する
		26	もちつき	季節の行事を楽しむ
6	2	2	節分	折尾神楽保存会による豆まき
	3	1	ひな祭り	季節の催事を体験する
		29	お別れ式	転園児童とのお別れ

※誕生会：毎月（該当児童がいない場合はお楽しみ会）

※職員会議：毎月1回

ウ 地域交流（0件）

年	月	日	概要	内容
なし				

エ 施設外研修（13件、延べ13人）

（単位：人）

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	7	14	地域型保育事業等給食担当者研修	調理実習他	ウェル戸畑	北九州市保育課	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	7	21	認可外保育施設保育従事者研修	乳幼児に対する心肺蘇生	男女共同参画センター	北九州市保育課	1
	8		児童虐待対応リーダー養成研修	虐待対応リーダーを養成する	YouTube	北九州市保育課	1
	9		保育安全研修	安全安心な保育	オンライン	児童育成協会	1
		21	キャリアアップ研修：乳児保育	乳児保育の課題等	オンライン	福岡県	1
	10		ヤングケアラー支援	ヤングケアラーを支えるための協働的支援	YouTube	北九州市児童虐待防止担当	1
			施設長研修	施設の運営管理、保育の質の向上	オンライン	児童育成協会	1
	11	9	北九州市小児保健研究会研修	運動が発達に与える影響他	北九州芸術劇場	子育て支援課 母子保健課	1
		22	民間社会福祉事業従事者共済事業担当研修	ダイバーシティの理解他	ウェル戸畑	北九州市社会福祉協議会	1
		29	地域型保育事業給食担当者研修	職務遂行上必要な知識や技能の習得	ウェル戸畑	北九州市保育課	1
	12		令和5年度人権研修	人権問題への理解と歓声を身につける	YouTube	北九州市保育課	1
6	2	27	地域型保育事業給食担当者研修	職務遂行上必要な知識や技能の習得	ウェル戸畑	北九州市保育課	1
	1	25	地域型保育事業給食担当者研修	子どもの基本的生活習慣習得について	生涯学習総合センター	北九州市	1

オ 施設内研修（18件、延べ151人）

（単位：人）

年	月	日	研修名	内容	参加人数
5	4	27	保育理念・保育基本方針等について	法人の理念と今年度の事業計画	11
	5	22	救急救命	誤嚥・窒息の際の対応	14
			事故・ヒヤリハット検討	4月の事故検証と、事故の報告について	

年	月	日	研 修 名	内 容	参加人数
5	6	25	事故対策	園のマニュアル確認・更新	13
	7	27	避難確保計画・災害時マニュアルの見直し	洪水も警戒区域となったための見直し	11
			事故・ヒヤリハット検討	6月の事故の検証と事故報告の大切さについて	
			研修報告：給食担当者研修	離乳食の展開について	
	8	24	研修報告：乳幼児に対する心肺蘇生法	乳幼児に対する心肺蘇生法を実施	13
			事故発生時の対応・不審者対策	日常の安全管理・事故の要因とその防止	
	9	28	虐待防止	虐待の理解とセルフチェック	15
			事故・ヒヤリハット検討	8月の事故の検証と事故報告の大切さについて	
			研修報告：児童虐待対応リーダー養成研修	北九市の児童虐待の実態について	
	10	26	事故対策（睡眠時突然死症候群・誤嚥防止）	SIDS、誤嚥チェックポイントについて	15
			研修報告：乳児保育	乳児について重視していること	
6	11	22	感染症対策	インフルエンザノロウイルスの症状や予防について	11
			研修報告：ヤングケアラー支援	北九州市におけるヤングケアラーの支援について	
			事故・ヒヤリハット検討	10月の事故の検証と事故報告の大切さについて	
6	1	25	食育	添加物のメリット・デメリット	12
	2		障害児保育について	障害児保育の現状と課題	12
	3		子育て支援	保育所等における子育て支援の意義と役割	12

(2) 施設の利用状

ア 在籍園児数(月初時点)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入園児数	4	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7	0.6
退園児数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	12	17	1.4
在籍園児数	16	15	14	16	16	17	17	17	18	18	16	15	195	16.3

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
うち地域枠	8	7	7	8	8	9	9	9	9	9	9	8		
うち連携企業枠	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1		
うち自社枠	5	5	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6		

※ 退園理由：幼稚園に転園16名・大規模保育園に転園1名

イ 年齢別平均在園児数

(単位：人)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
在園児数	4.1	5.3	6.5	0.2	0.0	0.0	16.1

ウ 一時預かり事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	5	0	4	6	4	1	6	1	0	1	0	0	2.3

エ 延長保育事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	0	0	2	3	3	1	3	1	1	3	0	0	1.4

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいたご意見

なし

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	73
うち損害あり	63
うち行政報告あり	0

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
死亡	0
意識不明	0
打撲・発赤	43
骨折	0
火傷	0
創傷	21
口腔内受傷	0
その他	4
異常なし	5
計	73

イ 事故の内容・誘因 (単位：件)

内容	インシデント	事故	計
死亡	0	0	0
遊具等からの転落・落下	0	0	0
自らの転倒・衝突	0	46	46
子ども同士の衝突	0	13	13
玩具や遊具等の安全上の不備	0	0	0
他児からの危害	0	0	0
アナフィラキシーショック	0	0	0
溺水	0	0	0
その他	1	13	14
計	1	72	73

エ 行政報告事故の詳細

なし

(5) 令和5年度事業計画の達成度

ア 令和5年度基本方針に関して

(ア)「保育の質の向上」について

「基本理念の理解、共有」を重要な課題として位置づけ、施設内研修や現場で、職員全体が理解し、実践できるよう取り組み続けた。また、職員間で子どもや保護者の情報を細かく共有し、日々の保育につなげる環境づくりを図った。

(イ)「保護者対応の充実」について

子どもの様子をこまめに報告し、また、家庭での様子を保護者と共有することによって、より良い信頼関係を気付くよう取り組み続けた。

(ウ)「地域の子育て支援」について

地域枠の利用者の受け入れによって少しは貢献できた。新型コロナウイルス感染症も5類となったが、園内での感染・感染拡大を防ぐことを考え、新たな取り組みをすることはできなかった。

イ 令和5年度事業内容に関して

(ア)「質の高い保育を実践」について

a 目的別のミーティングや各人とのコミュニケーションによって、保育現場での様々な課題を共有し、解決、発展させることはできたが、積極的な意見交換には至らなかった。今後は、職員それぞれの個性を生かし、より活発な意見交換ができる雰囲気職場づくりに取り組んで行くことを考えている。

b 職員全体で子どもの個性や発達を共有し、それぞれに応じたきめ細やかな保育の実践に取り組むことができた。自らが受容されることで、自他ともに肯定できる子どもの姿を目指し、継続して取り組んでいく。

(イ)「保護者との連携・支援」について

a 連絡帳や保育業務支援ソフトでの一斉連絡等を通して、園からの情報を分かりやすく伝達することができた。また、インスタグラムでの写真や動画を通して、子どもたちの園での様子を具体的に示すことができ、保護者からも好評を得ている。

b 担当保育士を中心に、それぞれの家庭環境を考慮した子育て支援を心がけ、保護者と連携を図ることができた。しかし、こちらから

の支援の内容がうまく伝わらないなど、コミュニケーションの取り方の難しさを感じる場面もあった。引き続き、保護者との信頼関係の構築やコミュニケーションの充実に力を入れていきたい。

- c 保護者支援のための研修を行い、それぞれが保護者支援について考える機会を設けることができた。今後はそれを実践的に取り入れ、保護者・子育ての支援を継続的に行っていきたい。

(ウ)「地域の子育て支援」について

- a 地域の方のための「子育て相談室」に関しては、コロナウイルス感染症など、感染症対策を第一としたため、実践することができなかった。
- b 連携企業という制度を地域の企業に知らせたり、企業と園をつなぐネットワークに参加したりし、育児休業等からの復帰や入社がスムーズにできるよう支援した。また、連携企業枠の保護者負担額を変更し、より入園しやすい環境を整えた。

(エ) 感染症対策について

- a 新型コロナウイルスだけでなく、他の感染症に対しても、保育課（現在子ども施設計画課）、児童育成協会、厚生労働省からの最新の情報にアクセスし、それらに基づく対策の整備を都度行い、感染症対策に努めることができた。
- b 子ども、職員共に体調管理を徹底し、しっかりと感染症対策を行った。また、子ども、職員が感染症に罹患した場合、すぐに保護者、職員に情報を発信し、感染の拡大を防ぐことができた。